

6月7日（金）医療安全委員会の西原主任に講師をしていただき、『危険予知訓練（KYT）研修』を開催しました。グループワーク演習より活発な意見交換を行う事ができ、チームで協力して課題を解決する貴重な時間となりました。そして情報共有することで事故防止となる事を学べる研修となりました。また、追加研修として中国総合通信局職員 佐々木 祐様をお招きし、『電波を利用した医療機器の電波トラブルの事例や注意点』についてお話をいただきました。電波を利用した医療機器が普及する中で大事な事は、電波の環境の悪さにいち早く気付く事が大事であることを教えていただきました。お忙しい中ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。（参加者：79名でした。）



アンケート結果（回答 64名）

【アンケート回答】

- ・今回取り組む事例で危ない事が分かった。
- ・危険と思われる行動の規制（ながらスマホ）
- ・安全、危機管理について話し合う機会を作る。

- ・小グループで話し合い、お互いの意見を出し合うことで考え方、行動を変えていく。
- ・今回の意見は各部署からの意見としても同じものだと思いますので早急に対応していただきたい。
- ・ヒヤリハットなどの具体的な内容をほり下げると共に、事前に安全配慮ができるような職場環境を作っていく。
- ・最近、車による事故によって小さな子どもや、そのお母さんが亡くなるという痛ましい事故がおこっているため園内、園外をもう一度見直していきたい。
- ・KTYはとても具体的で分かりやすかったです。
- ・定期的にKYT研修を行い皆の危険予知をするスキルを上げていくと良いと思う。



次回の研修！

詳細は後日 J-MOTTO にて
回覧いたします。

次回の研修もお楽しみに♪



『編集後記』

春先から初夏にかけて寒暖の差が大きかった気がしますが、皆様体調はいかがですか？

これから長雨が続く梅雨の季節がやってきます。日本では暑さよりも湿気が不快に感じる季節ですが、晴れやかな気持ちになるよう お出かけなどで気分転換していきたいですね。

(*^.*^)

担当 本田

